

平成31年度

大分大学大学院福祉社会科学研究科
修士課程

学生募集要項

一 般 入 試

推薦入試（学校・事業所）

社会人入試（シニアを含む）

外国人留学生入試

平成30年5月



変化する、そして進化する。

大分大学

OITA UNIVERSITY

目 次

ページ

○大分大学大学院福祉社会科学研究科	
入学者受入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）	1
○大分大学大学院福祉社会科学研究科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	3
○募集要項	
1 入試日程	4
2 募集人員	4
○一般入試	
1 出願資格	5
2 出願手続	5
3 出願書類等	6
4 選抜方法	6
5 試験期日、科目	7
6 試験会場	7
7 合格者発表	7
○推薦入試（学校）	
1 出願資格	8
2 推薦要件	8
3 出願手続	8
4 出願書類等	9
5 選抜方法	9
6 試験期日、科目	9
7 試験会場	9
8 合格者発表	10
○推薦入試（事業所）	
1 出願資格	11
2 出願手続	11
3 出願書類等	12
4 選抜方法	12
5 試験期日、科目	12
6 試験会場	12
7 合格者発表	13
○社会人入試	
1 出願資格	14
2 出願手続	14
3 出願書類等	15
4 選抜方法	15
5 試験期日、科目	16
6 試験会場	16
7 合格者発表	16
○社会人入試（シニア）	
1 出願資格	17

2	出願手続	17
3	出願書類等	18
4	選抜方法	18
5	試験期日, 科目	18
6	試験会場	18
7	合格者発表	19
○外国人留学生入試		
1	出願資格	20
2	出願手続	20
3	出願書類等	21
4	選抜方法	22
5	試験期日, 科目	22
6	試験会場	22
7	合格者発表	22
○共通項目		
1	出願資格認定申請	23
2	障がいのある者等の事前相談について	24
3	入学手続	24
4	入学料及び授業料	24
5	注意事項	25
○福祉社会科学研究科（修士課程）案内		
1	研究科の目的	26
2	研究科で養成する人材	26
3	研究科の教育体制	26
4	教育方法の特色	26
5	長期履修制度（総額2年分の授業料で、最長4年まで在籍することができる制度）	27
6	履修の方法, 修士論文及び学位の授与	27
7	修了後の進路	28
8	免許状の授与	28
9	平成30（2018）年度時間割	29
10	研究科の授業科目・履修方法	30
○試験会場案内図		
37		
○出願様式等		
	入学志願書	
	受験票, 受験票（大学控）, 入学検定料振替払込受付証明書等貼付欄	
	研究計画書	
	推薦書（学校）	
	推薦書（事業所）	
	志願理由書	
	払込取扱票	
	合格通知用住所シール	
	受験票返送用封筒	
	出願用封筒	

大分大学大学院福祉社会科学研究科

入学者受入れの方針（A P：アドミッション・ポリシー）

基本理念

福祉社会の構築は人類恒久の課題です。そのために、グローバルからローカルまで、あらゆる段階で起きる社会的・経済的条件を的確に捉え、充実した福祉社会の構築に貢献できる高度で専門的な能力をもつ人材がますます必要になっています。

本研究科は、そうした社会的要請に応えるために、学際的かつ多元的なアプローチによる福祉社会科学の素養を身につけた高度専門職業人の養成に果敢に取り組みます。

教育・研究の目標

1. 学生の立場に立った教育体制のもとで、福祉を総合的・多角的に捉え、豊かな人間性と高い倫理観を有し、高度専門職業人として社会的責任を果たす人材を養成します。
2. 社会福祉学・法学・社会学・経済学・経営学・教育学などの高度な社会科学の知識を修得し、高度な実践として、問題発見・解決・抑止のできる創造的で応用力豊かな高度職業人の養成をします。
3. 高い研究意欲、たゆまぬ探求心を持ち、総合的な判断力と実践力を身につけ専門職業人として高度な技能を有し、地域社会、広くは国際社会で活躍できる高度職業人の養成をします。

求める学生像

1. 幅広く、深く学び社会事象の本質を探求していく基礎的能力を備える人
2. 福祉政策や専門的な援助に関する総合的な知識を意欲的に吸収し、積極的に課題に取り組む人
3. 自己の資質を高めるために積極的に取り組み、高度専門職業人としての能力を向上させたい人
4. 高度専門職業人としての社会的使命を明確にもち、これを社会において果たすために真摯に取り組む人
5. 福祉及び関連領域の現場で福祉社会科学の視点を活かしたアプローチにより企業、地方自治体、NPOなど地域社会、広くは国際社会において活躍し社会貢献する高度専門職業人を志す人

入学者選抜の基本方針

福祉社会の形成に必要な専門知識の習得と実践能力を高めることを目的としているため、基礎学力を重視しています。また、福祉を総合的・多角的に捉えることができる高度専門職業人の育成を目的としているため、幅広い分野からの人材を求めます。さらに、また社会人のリカレント教育への関心の高まりに応えるとともに地域社会との連携の強化を図っていくため、社会人としての経験にもとづく明確な問題意識と柔軟な発想を求めています。

この方針のもとに本研究科では一般入試、推薦入試（学校）、推薦入試（事業所）、社会人入試、社会人入試（シニア）、外国人留学生入試を実施し、学生を選考します。

・一般入試

外国語、専門科目（社会福祉学、法学、社会学、経済学、経営学から1科目を選択）、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・推薦入試（学校）

学部の成績が優秀な者で学部長または指導教員より推薦された者に対し、出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

- ・推薦入試（事業所）

現在勤務中の事業所の推薦を受けた者に対し、出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

- ・社会人入試

専門科目（社会福祉学，法学，社会学，経済学，経営学から1科目を選択），小論文及び面接の結果並びに成績証明書により基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

- ・社会人入試（シニア）

出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

- ・外国人留学生入試

専門科目（社会福祉学，法学，社会学，経済学，経営学から1科目を選択），作文および面接の結果並びに成績証明書により、日本語の能力，基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

大分大学大学院福祉社会科学研究科

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大分大学大学院福祉社会科学研究科は、今日の多様な福祉課題や福祉ニーズを分析及び解決する能力の涵養を図り、福祉社会を支える高度専門的職業人を育成することを目的としている。

この目的を踏まえ、本研究科では、修士課程を通じて必要な単位数を修得し、学位論文の審査および最終試験に合格したもので、以下の資質や能力を習得した学生に学位を授与する。

修士課程 修士（福祉社会科学）

1. 幅広い社会科学の諸分野から福祉を総合的・多角的に捉え、福祉社会の構築を図るための諸課題に的確に対処するうえで、高度専門的職業人として必要な専門知識を体系的に有している。
2. 人口の少子高齢化や家族の変容、経済社会の変化のもとで生じている今日的な福祉課題や福祉ニーズに対処するために、必要な情報を収集すると同時に、それを政策と実践の両面から適切に分析できる能力を備えている。
3. 福祉社会に関する理論や政策、実践からのアプローチを通じて、国際的な視野をもちつつ、地域の実態に応じて様々な福祉課題に対処できる総合的な判断力と問題解決能力を有している。

募 集 要 項

1 入試日程

区 分	第1次募集	第2次募集	第3次募集
出願期間	平成30年8月17日(金) ～平成30年8月24日(金)	平成30年11月22日(木) ～平成30年11月29日(木)	平成31年2月14日(木) ～平成31年2月21日(木)
試験日	平成30年9月1日(土)	平成30年12月8日(土)	平成31年3月2日(土)
合格者発表	平成30年9月7日(金)	平成30年12月14日(金)	平成31年3月8日(金)

※募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。

※第2次募集，第3次募集を行う場合は，大分大学ホームページでお知らせします。

2 募集人員

専攻名	募集人員	備 考
福祉社会科学専攻	12名	一般入試，推薦入試（学校・事業所），社会人入試（シニアを含む），外国人留学生入試を合わせた募集人員

一 般 入 試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 他の大学に3年以上在学し、当該大学大学院に入学した者で、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達する者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）

2 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

(2) 募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。


第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

(3) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業証明書又は 卒業見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
学士の学位授与 証明書又は学士の 学位授与申請申立書	大学評価・学位授与機構が証明したもの(出願資格(2)該当者) ※授与見込者の申立書については様式任意
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて:2,000字程度)
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円) ※国費外国人留学生を 除く	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

* 研究計画書は、本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

4 選抜方法

入学者の選抜は、外国語、専門科目、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

5 試験期日, 科目

期 日	科 目	時 間	備 考
第1次募集 平成30年9月1日(土) 第2次募集 平成30年12月8日(土) 第3次募集 平成31年3月2日(土)	外 国 語	9:00~10:00	英語(英和辞典を貸与します。)
	専門科目・小論文 (専門科目と小論文は、同一時間内に行います。)	10:20~12:20	専門科目:社会福祉学, 法学, 社会学, 経済学, 経営学から1科目選択 小論文:福祉社会に関する理解を問うものです。
	面 接	13:30~	面接は、個人面接で志願者の研究意欲, 研究能力等を判定します。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

6 試験会場

大分大学経済学部棟

※8時30分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

7 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金)10時 第2次募集 平成30年12月14日(金)10時 第3次募集 平成31年3月8日(金)10時
---------	---------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

推薦入試（学校）

1 出願資格

大学を平成30年4月以降に卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者

2 推薦要件

上記の出願資格を有し、次に該当する者

- ・3年次までに100単位以上を修得し、そのうち60単位以上は優（A）以上が占め、学部長又は指導教員が責任をもって推薦できる者で、合格した場合には入学を確約できる者

（注）大学の3年次へ編入学した者は、3年次に40単位以上を修得し、そのうち30単位以上は優（A）以上が占め、学部長又は指導教員が責任をもって推薦できる者で、合格した場合には入学を確約できる者

3 出願手続

（1）出願期間

第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

（2）募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。

第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

（3）提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

4 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身，無帽，正面向きで，本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業証明書又は 卒業見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：2,000字程度)
推薦書(学校)*	本学所定の用紙
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円) ※国費外国人留学生を 除く	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い，必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記のURLから申し込み，受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは，アクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し，362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

* 研究計画書，推薦書(学校)は，本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

5 選抜方法

入学者の選抜は，出願書類及び口述試験の結果を総合して判定します。

6 試験期日，科目

期日	科目	時間
第1次募集 平成30年9月1日(土)	口述試験	13:30~
第2次募集 平成30年12月8日(土)		
第3次募集 平成31年3月2日(土)		

※試験開始時刻に遅刻した場合は，面接者の1人目の試験が終了し退室するまでに限り，受験を認めます。

7 試験会場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

8 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金)10時 第2次募集 平成30年12月14日(金)10時 第3次募集 平成31年3月8日(金)10時
---------	---------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

推薦入試（事業所）

1 出願資格

次のいずれかに該当する者で、なおかつ現在勤務中の事業所の推薦を受けられる者

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (5) 文部科学大臣の指定を受けた者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (6) 入学時において、大学卒業後5年以上経過している者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学時において22歳に達し、以下のいずれかの要件を充たす者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）
 - ① 最終学校卒業後2年以上の職歴がある者
 - ② 最終学校卒業後7年以上経過している者


2 出願手続

- (1) 出願期間
 - 第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）
 - 第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）
 - 第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。
- (2) 募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。
第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。
- (3) 提出先
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業証明書又は 卒業見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：3,000字程度)
推薦書(事業所)*	本学所定の用紙
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

* 研究計画書、推薦書(事業所)は、本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

4 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験の結果を総合して行います。

5 試験期日、科目

期日	科目	時間
第1次募集 平成30年9月1日(土)	口述試験	13:30~
第2次募集 平成30年12月8日(土)		
第3次募集 平成31年3月2日(土)		

※試験開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験が終了し退室するまでに限り、受験を認めます。

6 試験会場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

7 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金)10時 第2次募集 平成30年12月14日(金)10時 第3次募集 平成31年3月8日(金)10時
---------	---------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

社 会 人 入 試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (5) 文部科学大臣の指定を受けた者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (6) 入学時において、大学卒業後5年以上経過している者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学時において22歳に達し、以下のいずれかの要件を充たす者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）
 - ① 最終学校卒業後2年以上の職歴がある者
 - ② 最終学校卒業後7年以上経過している者


2 出願手続

- (1) 出願期間
 - 第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）
 - 第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）
 - 第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。
- (2) 募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。
第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。
- (3) 提出先
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身，無帽，正面向きで，本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの (ただし，出願資格認定申請時に提出済みの場合は，不要です。)
学士の学位授与 証明書又は学士の 学位授与申請申立書	大学評価・学位授与機構が証明したもの（出願資格（2）該当者） ※授与見込者の申立書については様式任意
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：2,000字程度)
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円)	①②のいずれかの方法でお支払いください。 ①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い，必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合 下記のURLから申し込み，受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ・パソコンからの本学ホームページ（ http://www.oita-u.ac.jp/ ） 上部メニュー→ 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL（ https://www.oita-u.net/mobile/ ） ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは，アクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し，362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

* 研究計画書は，本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

4 選抜方法

入学者の選抜は，専門科目，小論文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

5 試験期日, 科目

期 日	科 目	時 間	備 考
第1次募集 平成30年9月1日(土) 第2次募集 平成30年12月8日(土) 第3次募集 平成31年3月2日(土)	専門科目・小論文 (専門科目と小論文は、同一時間内に行います。)	10:20~12:20	専門科目: 社会福祉学, 法学, 社会学, 経済学, 経営学から1科目選択 小論文: 福祉社会に関する理解を問うものです。
	面 接	13:30~	面接は、個人面接で志願者の研究意欲, 研究能力等を判定します。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

6 試験会場

大分大学経済学部棟

※9時50分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

7 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金) 10時 第2次募集 平成30年12月14日(金) 10時 第3次募集 平成31年3月8日(金) 10時
---------	------------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

社会人入試（シニア）

1 出願資格

次のいずれかに該当する者で、なおかつ入学時において、満55歳以上の者

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (5) 文部科学大臣の指定を受けた者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (6) 入学時において、大学卒業後5年以上経過している者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）

2 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

(2) 募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。


第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

(3) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
志願理由書*	本学所定の用紙
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：3,000字程度)
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

* 志願理由書、研究計画書は、本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

4 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験を総合して行います。

5 試験期日、科目

期日	科目	時間
第1次募集 平成30年9月1日(土)	口述試験	13:30~
第2次募集 平成30年12月8日(土)		
第3次募集 平成31年3月2日(土)		

※試験開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験が終了し退室するまでに限り、受験を認めます。

6 試験会場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

7 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金)10時 第2次募集 平成30年12月14日(金)10時 第3次募集 平成31年3月8日(金)10時
---------	---------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

外国人留学生入試

1 出願資格

日本国籍を有しない者であり、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、日本の大学を卒業した者及び2019年3月までに卒業見込みの者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者
- (5) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達する者（共通項目1. 出願資格認定申請を参照）

2 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集 平成30年8月17日（金）～8月24日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年11月22日（木）～11月29日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年2月14日（木）～2月21日（木）午後5時まで（必着）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

(2) 募集人員に達した場合は、以降の募集は行いません。

第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

(3) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	所定の欄はすべて記入してください。
受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成績証明書 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもので、日本語での翻訳文を必ず添付してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
学士の学位授与 証明書又は学士の 学位授与申請申立書	大学評価・学位授与機構が証明したもの (出願資格(4)該当者) ※授与見込者の申立書については様式任意
研究計画書*	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：1,000字程度)
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円) ※国費外国人留学生を 除く	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>A. 日本国内から検定料を振込む場合</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。</p>  <p>B. 日本国外から検定料を振込む場合 ※手数料は本人負担です。</p> <p>1. 「CHG SENDER(払込人負担)」で送金</p> <p>2. 送金額：『検定料30,000円』+『円為替手数料1,500円』+※【別途手数料】</p> <p>3. ※【別途手数料】は、現地振替銀行に確認してください。</p> <p>4. 下記の要領に従って外国送金してください。 ①送金種類：電信送金 (Telegraphic Transfer) ②支払方法：通知払 (Advise and Pay) ③送金目的：検定料 (Application Fee) ④送金先 ・銀行名：大分銀行 (THE OITA BANK, LTD.) Bank code no : 0183 ・支店名：しきど支店 (SHIKIDO BRANCH) Branch code No.069 ・口座番号：普通預金5261880 (A/C No. 5261880) ・受取人：国立大学法人大分大学学長 北野 正剛 (Oita University President Kitano Seigo) ・銀行住所：〒870-1121大分市大字鴛野862-2 (862-2 Oshino Oita-shi 870-1121 JAPAN) ・スィフトコード：OITAJPJT ・大分大学住所：700 Dannoharu Oita-shi 870-1192 JAPAN</p> <p>5. 送金の際、送金人 (Remitter) が出願者本人でない場合は、連絡事項 (Message) に出願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>6. 送金の際、連絡事項 (Message) に「G1」を記入してください。</p> <p>7. 振込み後は、「外国送金依頼書」の写しを受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。</p>

返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙
住民票	在留資格、在留期間が明示されたもの。

* 研究計画書は、本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

4 選抜方法

入学者の選抜は、専門科目、作文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

5 試験期日、科目

期 日	科 目	時 間	備 考
第1次募集 平成30年9月1日(土) 第2次募集 平成30年12月8日(土) 第3次募集 平成31年3月2日(土)	専門科目・作文 (専門科目と作文は、同一時間内に行います。)	10:20~12:20	専門科目：社会福祉学、法学、社会学、経済学、経営学から1科目選択 作文：日本語能力を測るものです。 ○いずれも日本語で解答してください。
	面 接	13:00~	面接は、個人面接で志願者の研究意欲、研究能力、日本語能力等を判定します。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

6 試験会場

大分大学経済学部棟

※9時50分までに経済学部棟正面玄関に集合してください。

7 合格者発表

合格者発表日時	第1次募集 平成30年9月7日(金)10時 第2次募集 平成30年12月14日(金)10時 第3次募集 平成31年3月8日(金)10時
---------	---------------------------------------------------------------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付(同時刻に発送)します。

※これら以外の合格通知等については、本学は責任を負いません。

共 通 項 目

1 出願資格認定申請

本研究科に出願するに当たり、次のいずれかの出願資格による場合は、下記の要領で審査の申請をしてください。

一般入試出願資格（６），（９），（１０）

推薦入試（事業所）出願資格（７）

社会人入試出願資格（７）

社会人入試（シニア）出願資格（７）

外国人留学生入試出願資格（５）

※これらの出願資格については、短期大学、高等専門学校、専修学校の専門課程（５ページの出願資格（７）を除く）、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。

（１）提出書類等

書 類 名	備 考
出願資格審査申請書	本研究科が定める様式（学生支援部入試課にお問い合わせ下さい）
履 歴 書	市販の履歴書に、期間に空白がないように、学修歴、研究歴又は実務経験等を併記し、顔写真を貼付したもの
卒業（修了）証明書 又は 在籍 証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
成 績 証 明 書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
取得した資格に関する証明書	学力の証明に有効であると思われる資格がある場合のみ提出
返信用封筒 （結果通知返送用）	宛名を明記し、切手（362円）を貼った長形3号の封筒
研 究 計 画	本研究科において、自身が研究したいテーマについて研究計画を下記の要領で作成し、提出してください。 ①研究論文の体裁を整えたものとする。こと。 ②字数は日本語で4,000字程度とすること。 ③注記、参考文献を記載すること。 ④必要であれば図・表を掲載すること。（これらも字数に含む） ※一般入試出願資格（６）による場合は提出不要
そ の 他	履歴等に関して、本研究科が特に証明書等の提出を求める場合がある。

※外国語の証明書には必ず和訳文を添付してください。

※証明書等の姓と現在の姓が異なる場合は、改姓を証明できる書類を提出してください。

※出願資格審査の際に提出した卒業証明書及び成績証明書等は、出願の際に改めて提出する必要はありません。

（２）提出期日

第1次募集 平成30年7月6日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年10月18日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年1月10日（木）午後5時まで（必着）

※受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

※郵送の場合は、「速達簡易書留」郵便とし、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

(3) レポート課題

出願者はレポート課題を提出する必要があります。レポート課題は申請書類提出後に通知します（申請書類により、出願資格を有しないと判定した場合を除く）。

(4) 出願資格認定者

出願資格審査を受け、出願資格ありと認定された者は、結果通知書の写しを出願書類とともに提出してください。（本研究科にて出願資格ありと認定された者は、出願の度に資格審査を受ける必要はありません。）

(5) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

2 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、下記事項を記載した相談申請書（様式任意）に医師の診断書を添えて下記期日までに本学学生支援部入試課に提出してください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ・障がいの種類・程度 | ・受験の際に特別な配慮を希望する事項 |
| ・修学の際に特別な配慮を希望する事項 | ・日常生活の状況及びその他参考となる事項 |

第1次募集 平成30年7月6日（金）午後5時まで（必着）

第2次募集 平成30年10月18日（木）午後5時まで（必着）

第3次募集 平成31年1月10日（木）午後5時まで（必着）

受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土、日、祝日を除く）

3 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続きの日程を通知し、手続きに必要な案内を送付します。

第1次募集 平成30年10月頃

第2次募集 平成31年2月頃

第3次募集 平成31年3月頃

（上記日程で入学手続きを予定していますが、変更となる場合があります。）

4 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

- (1) 授業料は前期と後期に分けての納付になります。ただし希望により前期分納付の際に後期分も合わせて1年分を納付することもできます。
- (2) 入学料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・奨学融資の制度があります。免除・徴収猶予の申請は、入学手続期間に行う必要がありますので、詳細については、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。
- (3) 入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
- (4) 納付した入学料は返還できません。
- (5) 本研究科には、長期履修制度（詳細は27ページの「5 長期履修制度」を参照）がありますので、授業料納付前に学生支援部教育支援課福祉社会科学部研究科担当（TEL 097-554-7366）まで問い合わせてください。
- (6) 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。

- (7) 入学料免除・徴収猶予を申請された方で、入学手続完了後に入学を辞退された場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

5 注意事項

- (1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。
- (2) 出願手続き後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 改姓・改名により、現在の氏名と出願書類の氏名が相違する場合は、改姓・改名の事実が証明できる書類を提出してください。
- (5) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は、下記に行ってください。
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7006
- (6) **入学者のうち社会人については、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例により、2年間で修了できるように夜間の時間帯等に授業を実施します。（土・日曜に授業をすることもあります。）**
- (7) 災害に関する特別措置（入学検定料等）につきましては、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）でお知らせします。
- (8) 出願書類のうち、志願理由書、研究計画書、推薦書（学校）、推薦書（事業所）は、本学ホームページに掲載している様式をダウンロードして作成して提出することも可能です。

福祉社会科学研究科（修士課程）案内

大分大学大学院福祉社会科学研究科は、これまでの大分大学の福祉問題への取り組みを踏まえて、国立大学の人文社会系としては最初に福祉に焦点化した大学院（独立研究科）として、平成14年4月に設置されました。

福祉政策の計画・運営力と福祉臨床に関する高度な専門知識と実践力を備えた、使命感に燃える新しいタイプの高度専門職業人の育成を目的とする本研究科では、就学意欲に燃えた多くの方々の要望に応えるため、社会人向けの入試や昼夜開講などを実施します。

1 研究科の目的

本研究科では、深い人間理解を踏まえ、国・地方自治体・地域社会・企業などが「福祉社会」の形成に果たす役割を科学的に究明していくという基本的視点に立って、社会福祉学・法学・社会学・経済学・経営学・教育学などの社会科学を駆使し、社会の様々な分野で活躍する高度職業人の養成を目指します。

2 研究科で養成する人材

福祉と関わる多様な分野で活躍しうる高度な専門能力を具えた次のような人材を養成します。

- ① 福祉スーパーバイザー（ソーシャルワーカーのリーダー）
- ② 福祉アドミニストレーター（福祉施設・法人等の経営・管理者）
- ③ 地域福祉行政スタッフ（地方自治体等の福祉関係職員）
- ④ 地域福祉ビジネススタッフ（企業人、NPO職員など）

3 研究科の教育体制

本研究科の教育体制は、基礎分野、専門分野、修士論文指導から構成されています。なお、専門分野はマクロ・メゾ・ミクロの3つの領域から構成されており、社会福祉学のみならず、法学、経済学、経営学、社会学、教育学など幅広い学問分野から福祉問題に接近します。

① 基礎分野

福祉社会科学を学ぶ上で基礎となる枠組みや方法論を修得する講義です。福祉社会科学の概要を学ぶ「福祉社会科学概論」や、調査研究の基本的スキルの修得を図る「福祉調査研究方法論」、さらに、学部で社会福祉学を学んでいない方を主な対象とした入門科目「社会福祉の基礎」などの科目を設けています。

② 専門分野

【マクロ領域】社会政策や社会保障、福祉法制など福祉社会を支える制度や政策を研究する講義です。

【メゾ領域】地域における福祉問題の解決や福祉に係る組織の運営について研究する講義です。

【ミクロ領域】個人や集団に関する援助の原理や方法について研究する講義です。

③ 修士論文指導

基礎分野や専門分野での学びを活かし、研究成果を生み出すための演習です。「福祉社会科学概論」を担当する専任教員のなかから指導教員を選択します。

4 教育方法の特色

- ① 事例研究、現地調査、ディスカッションなどを積極的に取り入れた実践的な教育を行い、学際的・複合的な研究分野を開発します。
- ② 社会人学生が無理なく学習できるように夜間開講制を設けています。夜間の授業時間帯は18時10分～19時40分及び19時50分～21時20分です。週3日程度の通学で必要な単位が修得できます（29ページの時間割を参照）。また、学術情報拠点（図書館）は、平日8時30分から22時まで、土・日は10時から19時まで開館しています。

- ③ 指導教員は正・副指導教員制とし、学生の研究課題に応じて研究内容を深めることができるように指導します。
- ④ 学生は、基礎分野の「福祉社会科学概論」や「福祉調査研究方法論」等の必修科目を修得しつつ、専門分野のマクロ・メゾ・ミクロの各領域から選択して履修し、最終的な研究成果を「福祉社会科学演習」（Ⅰ～Ⅲ）で教員の指導を受けつつ修士論文として完成させます。
- ⑤ 学生の進路希望に応じて、指定された授業科目について教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、医学系研究科での履修を認めるオープン科目（2単位）を設けています。さらに、研究や行政の最先端の状況を把握するために、学外から講師を招き特別講義を設けています。

5 長期履修制度（総額2年分の授業料で、最長4年まで在籍することができる制度）

この制度では、標準修業年限を超えて計画的に授業科目を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修制度を利用できる対象者は、有職者及び正規の履修期間内で修学が困難な事情がある者（家事、育児及び介護など）です。

この制度の利用は原則として入学時の申請により認められます。また、修学状況等の変動により、申請した修業年限を短縮することも可能です。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うことになります。（下記の「授業料の納入例」参照）

【授業料の納入例】（年度により変更がないと仮定した場合）

標準修業年限（2年）

1年次 (535,800円)	2年次 (535,800円)	1,071,600円
-------------------	-------------------	------------

ア 入学時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 3年 = 357,200円（1年間の授業料）

イ 入学時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 4年 = 267,900円（1年間の授業料）

6 履修の方法、修士論文及び学位の授与

- ① 学生は、原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を作成します。
- ② 上記①のとおり、授業科目履修の修了要件は30単位です。履修の方法については、「10 研究科の授業科目・履修方法」のとおり、必修科目について、「基礎分野」で6単位、「修士論文指導」で6単位を修得します。選択必修科目については、幅広い視点で福祉問題にアプローチする人材を育成するために、「専門分野」のマクロ・メゾ・ミクロの各領域から最低2単位以上を修得することを課しています。「特別講義」については、原則として年度ごとに担当教員が変わることから、複数回の履修をすることは可能ですが、修了要件単位としては、「自治体福祉行政の現在」で1単位まで、「福祉研究の最前線」で2単位までを認めることとしています。
- ③ 修士論文の審査及び最終試験に合格することで、大分大学大学院福祉社会科学研究科を修了した者

と認定され、修士（福祉社会科学）の学位が授与されます。

7 修了後の進路

福祉に対する社会的需要の高まりとともに、福祉関連施設、行政及び産業の各分野で福祉専門職員、特にその指導的役割を担う人材の需要が著しく高まっています。福祉問題の複雑化・多様化のなかで施設や行政などにおいて福祉関連専門職の社会政策的視点、専門知識や技能の高度化も必要不可欠なものとなっています。本研究科では、こうした社会的ニーズに応える人材の養成、社会人のリカレント教育を行います。

深刻な社会問題となっている児童福祉の分野では、職員の専門性の向上が求められています。本研究科では、総合的な「子ども育成計画」などを具体的に企画し、主導的に推進し得る人材を養成します。

高齢者福祉・障害者福祉の分野でも介護保険の導入、「措置からサービス選択へ」という基幹システムの転換などにより、福祉サービスの高度化・複雑化が進行し、高度専門職が求められています。

21世紀の成長産業である福祉関連企業は、福祉に関する専門的知識をもち、商品・サービスとクライアント及びソーシャルニーズのマッチングができる人材が求められています。本研究科では、新分野の開発と運営ができる人材を養成します。

8 免許状の授与

高等学校専修免許状「福祉」

高等学校一種免許状「福祉」を取得している者が当該専修免許状に必要な単位を取得して本研究科を修了すれば、専修免許状が取得できます。

9 平成30 (2018) 年度時間割

学期：前期

時限	6時限 (18:10~19:40)		7時限 (19:50~21:20)	
曜日	科目名	教員	科目名	教員
月	◎福祉社会科学概論 市民参加と福祉社会特論	隅田 好美他 豊島 慎一郎	福祉法制・権利擁護特論	藤村 賢訓
火	児童・家庭ソーシャルワーク特論 マネジメント特論	相澤 仁 本谷 るり	社会政策特論	阿部 誠
水	方法・原理ソーシャルワーク特論	衣笠 一茂	社会福祉の基礎 地域福祉政策特論	廣野 俊輔 川村 岳人
木	◎福祉調査研究方法論 医療・福祉施設会計特論	隅田 好美他 大崎 美泉		
金	生と死の哲学特論	黒川 勲	福祉公共ガバナンス特論	高島 拓哉

学期：後期

時限	6時限 (18:10~19:40)		7時限 (19:50~21:20)	
曜日	科目名	教員	科目名	教員
月	福祉サービスシステム特論 非営利組織のマーケティング特論	久木元 美琴 松隈 久昭	精神保健ソーシャルワーク特論	橋本 美枝子
火	◎福祉社会科学課題研究(6・7限)	隅田 好美		
水	障害者ソーシャルワーク特論 人権の歴史特論	廣野 俊輔 八木 直樹		
木	社会保障政策特論	松本 由美	医療ソーシャルワーク特論	隅田 好美
金	雇用政策・福祉労働特論	石井 まこと		

◎は必修科目

「◎福祉社会科学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の開講日程については、担当教員と受講者が任意に設定。原則として、Ⅰは1年後期、Ⅱは2年前期、Ⅲは2年後期に履修。

10 研究科の授業科目・履修方法(これは平成30年度のもです。平成31年度開講科目については,変更が生じる可能性があります。)

【修了要件：30単位】

分野, 領域等	授業科目, 担当者名等	単位	必修選択	履修方法等
基礎分野	福祉社会科学概論 専任教員	2	必修	6単位
	福祉調査研究方法論 ☆ 隅田・衣笠ほか2名	2	必修	
	福祉社会科学課題研究 ☆ 隅田・相澤ほか2名	2	必修	
	社会福祉の基礎(入門科目) 廣野俊輔(専)	2	選択必修	
専 門 分 野	社会政策特論 ☆ 阿部 誠(特)	2	選択必修	・マクロ, メゾ, ミクロの各領域から, それぞれ2単位以上修得すること。 ・他研究科開設科目(*印)については, 2単位まで修了要件単位として認める。
	社会保障政策特論 ☆ 松本由美(専)	2	選択必修	
	福祉法制・権利擁護特論 ☆ 藤村賢訓(専)	2	選択必修	
	福祉政策特論 <未定>	2	選択必修	
	雇用政策・福祉労働特論 ☆ 石井まこと(兼)	2	選択必修	
	人権の歴史特論 八木直樹(兼)	2	選択必修	
	生と死の哲学特論 黒川 勲(兼)	2	選択必修	
	精神医学特論 * 堤 隆(教育学)	2	選択必修	
	福祉公共ガバナンス特論 ☆ 高島拓哉(専)	2	選択必修	
	福祉サービスシステム特論 ☆ 久木元美琴(専)	2	選択必修	
	地域福祉政策特論 ☆ 川村岳人(専)	2	選択必修	
	コミュニティソーシャルワーク特論(隔) ☆ <30年度不開講>	2	選択必修	
	市民参加と福祉社会特論 ☆ 豊島慎一郎(兼)	2	選択必修	
	非営利組織のマーケティング特論 ☆ 松隈久昭(兼)	2	選択必修	
	マネジメント特論 ☆ 本谷るり(兼)	2	選択必修	
	医療・福祉施設会計特論 ☆ 大崎美泉(兼)	2	選択必修	
	地方財政論特研 * <未定>	2	選択必修	
	住居学特論 川田菜穂子(教育学)	2	選択必修	
	福祉建築計画特論 * 鈴木義弘(工学)	2	選択必修	
	方法・原理ソーシャルワーク特論 ☆ 衣笠一茂(専)	2	選択必修	
	高齢者ソーシャルワーク特論(隔) ☆ <30年度不開講>	2	選択必修	
	児童・家庭ソーシャルワーク特論 ☆ 相澤 仁(専)	2	選択必修	
	障害者ソーシャルワーク特論 ☆ 廣野俊輔(専)	2	選択必修	
	精神保健ソーシャルワーク特論 ☆ 橋本美枝子(専)	2	選択必修	
	医療ソーシャルワーク特論(隔) ☆ 隅田好美(専)	2	選択必修	
	教育福祉特論 <未定>	2	選択必修	
	家族福祉特論 <未定>	2	選択必修	
	生命倫理学 * 今井浩光(医学)	1	選択必修	
特別講義	自治体福祉行政の現在 (非：西岡 隆)	1	選択必修	2単位まで修了要件単位として認める。
	福祉研究の最前線 (非：担当者未定)	2	選択必修	
修士論文指導	福祉社会科学演習Ⅰ 専任教員	2	必修	6単位 修士論文を作成する。
	福祉社会科学演習Ⅱ 専任教員	2	必修	
	福祉社会科学演習Ⅲ 専任教員	2	必修	

☆印：高等学校専修免許状「福祉」取得の該当科目(24単位取得)。*印：他研究科開設科目。

(専)：専任, (兼)：兼任, (非)：非常勤。

講 義 等 の 内 容

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福祉社会科学概論	2		<p>(概要) 福祉施設・福祉行政・福祉関連企業などを含む福祉社会システムについて、法学・歴史学・社会学・経済学の方法を駆使した学際的なアプローチをするための基本的訓練と専門的・応用的能力を育成するための社会科学的な分析手法について学習する。</p> <p>社会的弱者を含め、すべての人が人間としての尊厳をもって生き、安心して生活できるための福祉方法論や福祉実践サービスのあり方に関する専門的・応用的能力の育成のために、その原理と実践について多面的に学習する。 (オムニバス方式)</p>
		特任教授 阿 部 誠	社会政策
		准教授 藤 村 賢 訓	福祉法制・権利擁護
		講 師 松 本 由 美	社会保障政策
		教 授 衣 笠 一 茂	コミュニティソーシャルワーク ソーシャルワークの方法・原理
		准教授 久木元 美 琴	福祉サービスシステム
		准教授 高 島 拓 哉	福祉公共ガバナンス
		講 師 川 村 岳 人	地域福祉政策
		教 授 隅 田 好 美	高齢者ソーシャルワーク 医療ソーシャルワーク
		教 授 相 澤 仁	児童・家庭ソーシャルワーク
准教授 橋 本 美 枝 子	精神保健ソーシャルワーク		
講 師 廣 野 俊 輔	障害者ソーシャルワーク		

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福祉調査研究方法論	2	専任教員 (平成30年度は 衣笠・隅田・高 島・廣野・川村)	本講義では、研究論文作成に必要な視点・手続き・方法についての基礎的理解を深めることを目指す。具体的には、社会科学の視点と方法についての解説、研究論文の構成と執筆方法についての解説、主に文献研究、定性的研究、定量的研究の三つの調査研究方法についての解説を通じて、福祉社会科学研究を実施する上での基礎的な知識・理解の修得と、研究上の関心を具体的な研究テーマに絞り込むことができる論理展開についての理解を深めることを目的とする。
福祉社会科学課題研究	2	教授 隅田好美 教授 相澤 仁 講師 川村岳人	福祉課題や福祉ニーズに対処するために、政策と実践の両面から適切に分析できる能力と、総合的な判断力と課題解決能力を得ることを目的とする。本講義は、課題に対して受講生自らが問題点を見だし、討議を重ねて解決していくPBL（Problem based learning）方式にて行う。
社会福祉の基礎	2	講師 廣野俊輔	学部で社会福祉学を学んだ経験がない学生が、スムーズに研究するために必要な知識を身につけることをねらいとして、社会福祉の概要を解説する。
社会政策特論	2	特任教授 阿部 誠	<p>エスピノーアンデルセンをはじめとする「比較福祉国家論」の豊富な研究成果をうけて、日本でも、国際比較の視点にたつて福祉国家や福祉社会をトータルに議論する研究が広がっている。そこでは、社会保障制度や福祉政策が議論されることはいうまでもないが、ジェンダー問題や家族政策、雇用政策などを含めた幅広い論点について分析がなされ、社会をトータルに明らかにしようとするところに特徴がある。最近では、東アジア各国の社会保障制度や福祉レジームの研究も増えており、アジアにおける福祉国家・福祉社会の比較の議論もさかんである。</p> <p>こうした研究動向をうけて、この特論では、文献研究を通じ、アジア地域を主たる対象にして、多様な側面から「福祉社会」の国際比較を行う。</p>
社会保障政策特論	2	講師 松本由美	今日、すべての人が安心して生活を営んでいく上で社会保障の役割はますます重要なものとなっている。一方で、少子高齢化の進展や社会経済状況の変化を背景として、社会保障はさまざまな問題に直面している。本講義では、医療・介護政策や年金制度等に関する文献講読を通じて、社会保障の現状と課題を理解するとともに、今後の社会保障政策のあり方を考える。

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福祉法制・権利擁護特論	2	准教授 藤村賢訓	規制緩和路線の下、社会福祉基礎構造改革の進展により、福祉法制は従来の弱者救済的なものから当事者の自己決定の尊重と自立支援の方向へと大きく変容した。この改革を概観し、その内容を確認するとともに、新たな法制度のもつ意義をこれまでの福祉法制全体の歴史と構造のなかでとらえ、問題点を検討する。その上で、高齢者・障害者・子ども・女性などの人権尊重と自立支援という要請を満たすためには、法制度の整備だけでは十分でなく、関連する施策や市民の取組が必要であるとの観点から、これからの福祉に関する法制度や関連施設のあり方と課題を考察する。
福祉政策特論	2	未定	福祉課題や福祉ニーズに対処するためには、従前は分離して議論されがちであった〈政策〉もしくは〈実践〉のいずれかの領域の内に視野を留めるのではなく、法や予算などの政策（マクロ）、事業の計画・運営（メゾ）、個別的な支援実践（ミクロ）といったそれぞれの位相で複層的に捉えて検討する必要がある。 本講義では、生活困窮者等の生活支援システムの課題やあり方の検討をとおして、マクロ・メゾ・ミクロそれぞれの位相から総合的にアプローチする視点と、政策と実践の両面から具体的な課題を分析する能力を得ることを目的とする。
雇用政策・福祉労働特論	2	教授 石井まこと	雇用政策の研究対象は雇用・労働問題および生活問題という広範な領域にわたる。そうした領域のうち本特論では、福祉社会の構成要素である国・地域、企業、労働者・市民の経済的・社会的関係についての事例研究を通して、福祉の基礎となる雇用・生活条件の展開についての理解・考察を深めていく。また今日、産業構造の変化や市場競争の激化のなかで非正規雇用の増大や働き方の多様化が進んでいる。それは労働条件や社会保障制度の不安定化を通じて福祉社会の形成に大きな影響を及ぼしていく可能性をはらんでいる。こうした実態についても事例研究や統計分析を通じ、理論的・実証的に検討する。
人権の歴史特論	2	准教授 八木直樹	「人権」とは、人が生まれながらにして持っている権利であり、福祉に関わる者にとっては絶えず意識しなければならない重要な問題である。しかし、「人権」とは何なのか、は決して自明のことではない。本授業では、「人権の歴史」に関わる様々な文献を輪読することにより、「人権」とは何なのか、について議論していく。
生と死の哲学特論	2	教授 黒川勲	福祉に関する諸問題に対応するための社会政策的あるいは臨床的試みを支える基盤は人間理解にある。本特論では、人間理解のための根本的契機を「生と死」と捉え、「生き」かつ「死にゆく」存在者としての人間を全体的・本来的に考究する。考究にあたっては、西洋哲学における人間理解を基礎としながら、倫理学、宗教学の視座をも射程に入れ、内外の文献の精査と議論を行い、「生」、「死」、「人間」の本質を追求していく。

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福祉公共ガバナンス 特論	2	准教授 高島 拓哉	NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)のもとで、保育・社会福祉サービスを含む公共サービスのシステム改革が進んでいる。その考え方や課題を踏まえつつ、ニーズ概念などの検討をまじえて社会福祉の政策・運営管理をめぐる論点を解説する。
福祉サービスシステム 特論	2	准教授 久木元 美琴	少子高齢化の進展を背景として、子どもを産み育てやすい環境の整備や子育て支援の充実は、我が国における喫緊の政策課題となっている。保育をめぐる政策ニーズと充足のあり方は、その社会における経済システムや家族・女性労働の位置付けに強く規定される。この講義では、欧米先進国やアジアにおける家族や女性労働が置かれている状況について学び、現代日本の子育て支援のあり方について議論・検討する。
地域福祉政策特論	2	講師 川村 岳人	今日、経済構造の変化によって社会的な課題を解決する「空間的単位」が小さくなり、福祉問題の多くも地域ごとに読み解くことが求められている。本講義ではそうした状況を踏まえ、政策科学的な視点に基づいて地域福祉政策や地域福祉計画の意義や役割を解説し、地域福祉政策のあり方やその形成手法を検討する。
コミュニティ ソーシャルワーク 特論	2	教授 衣笠 一茂	現在、地域福祉重点化への福祉制度・施策の流れにおいて、たとえば共助の地域づくりや地域包括ケアシステム等地域福祉の理念を具象化するソーシャルワークの方法論の在り方が問われている現状がある。本講義ではそうした状況を踏まえ、地域福祉の理念の具象化に必要な方法論としてのコミュニティソーシャルワーク及びコミュニティ・エンパワメントの具体的方法について解説し、これからの地域福祉に必要な具体的な方法・技術の獲得を目指す。
市民参加と福祉社会 特論	2	教授 豊島 慎一郎	本特論では、社会学の立場から、市民参加に関する思想や歴史、実践面・政策面における現状と課題を踏まえ、「新しい市民社会」の構築について議論及び検討を行う。なお、講義の進行上、社会学理論及び社会学研究法の基礎を既に習得していることが望ましい。
非営利組織の マーケティング特論	2	教授 松隈 久昭	少子高齢化社会においては、高齢者・障害者を含めた生活者のニーズを分析し、効果的に福祉・医療・保健サービスを提供することが求められている。マーケティング（特に社会的マーケティング）の目的は、そのような生活者のニーズを構造的に分析し、ニーズに適合したサービスを提供し、生活者の満足度を高めることにある。本特論では、非営利的な組織である福祉施設や病院等のサービスを分析するとともに、福祉施設等の経営に関する問題を理論的・実証的に検討する。

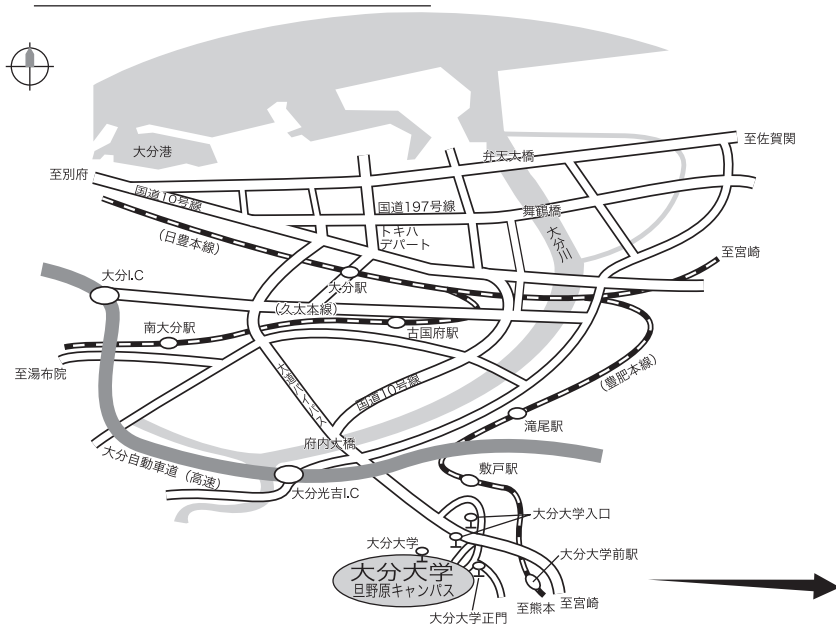
授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
マネジメント特論	2	教授 本谷 るり	人が目的を達成するために集まって活動する「組織」は社会のあらゆるところに存在します。「組織」と関わらずに生活することはほぼ不可能な社会です。その「組織」とはいったいどのようなものか、いかにして動かし成果をあげるか、考えていきましょう。そして、非営利的な組織と一般的な営利組織のあり方を比較し、両者のマネジメントについて検討・議論します。また、受講生各自の組織の中での経験・体験なども交えてディスカッションをします。
医療・福祉施設会計特論	2	教授 大崎 美泉	医療と福祉を取り巻く環境は、社会、経済、理論、技術といった広い範囲にわたって急激に変化し、これらの担い手である施設の経営もますます厳しいものとなってきている。そこで本講義は、DPCの導入といった医療・福祉制度全般に係わる問題からコスト解析あるいは戦略の形成といった個々の施設のマネジメントに係わる問題まで、医療・福祉に関する現代的なテーマの中からいくつかを受講生と相談の上で選択し、議論していく。
方法・原理 ソーシャルワーク特論	2	教授 衣笠 一茂	ソーシャルワーク理論の展開過程を敷衍しながら、理論の今日的な到達点について理解するとともに、ソーシャルワーク実践において用いられる主要なアプローチと理論的フレームワークについて解説し、専門職としてのソーシャルワーク実践の特質、内容、課題、共通基盤などについて考察を加え、高度専門職として実践場面で活用できるソーシャルワークの方法・原理を習得することを目的とする。
高齢者 ソーシャルワーク特論	2	教授 隅田 好美	「古い」と「孤独」を中心に、高齢者を取り巻く課題を見つめる。特に、認知症がある人の主観的ニーズに寄り添うためのミクロレベルの実践や理論を学び、「介護」についてメゾやマクロレベルの含めた課題を検討する。
児童・家庭 ソーシャルワーク特論	2	教授 相澤 仁	児童虐待、少年非行、DVなどの子どもや家庭の問題の現状と課題について取り上げ、子どもやその家庭（障害者や高齢者を含む）を対象にした具体的な事例のケアマネジメントについての演習を行い、ケースについてのアセスメント・プランニングなどケアマネジメント及び包括的なファミリーソーシャルワークについての基本的かつ実践的な知識や技術及び倫理などについての獲得を目指す。
障害者 ソーシャルワーク特論	2	講師 廣野 俊輔	本講義では、障害者福祉に関する重要な文献の精読によって、障害者福祉、障害者へのソーシャルワークのあり方を検討する。また、障害者を取りまく劇的な政策的变化について関連資料を用いて紹介し、各受講者が現状について自分なりの評価ができるようになることを目指す。受講生には発表の分担、議論への参加が求められる。
精神保健 ソーシャルワーク特論	2	准教授 橋本 美枝子	われわれは、重篤な健康障害、深刻な生活破綻、否認、度重なる再発を呈するアルコール依存症者に対し、しばしば「困難」「厄介」「絶望的」とラベリングする。 しかし、彼らは深刻な問題を抱えながらも生き延びる「力」を持ち、「自分で変わる人」でもある。本講義では、クライアントの弱点や欠点に焦点をあてる介入方法に批判的検討を試み、クライアントの資源と成功に焦点をあてる介入方法について考察を深める。

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
医療 ソーシャルワーク 特論	2	教授 隅田好美	さまざまな医療的ニーズをもつ人のナラティブから主観的ニーズを分析し、理論と実践を結びつける方法を学ぶ。特に「病いとともにその人らしく生きるための支援」について、ミクロレベルの実践や研究を行うために必要な専門的知識を身につける。また、社会学や看護学など、他分野の専門知識を知ることで、ソーシャルワークの実践や研究を深める。
自治体福祉行政の 現在	1	未定	未定
福祉研究の最前線	2	未定	未定
福祉社会科学演習 I・II・III	各2	福祉社会科学概 論担当教員から 1人を選択	受講生それぞれの修士論文テーマにあわせて演習を行います。詳細については担当教員が指示します。

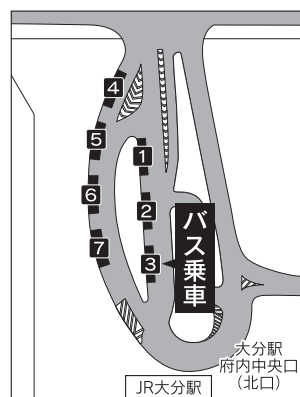
※開設授業科目及び担当教員については、変更が生じることもあります。

◎試験会場案内図

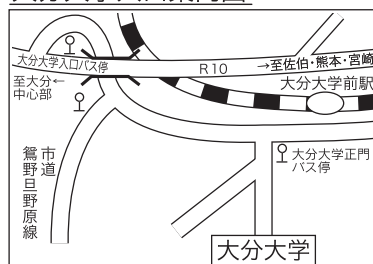
大分大学巨野原キャンパス位置図



大分駅前バス乗り場



大分大学入口案内図



●交通アクセス

< JR利用 >

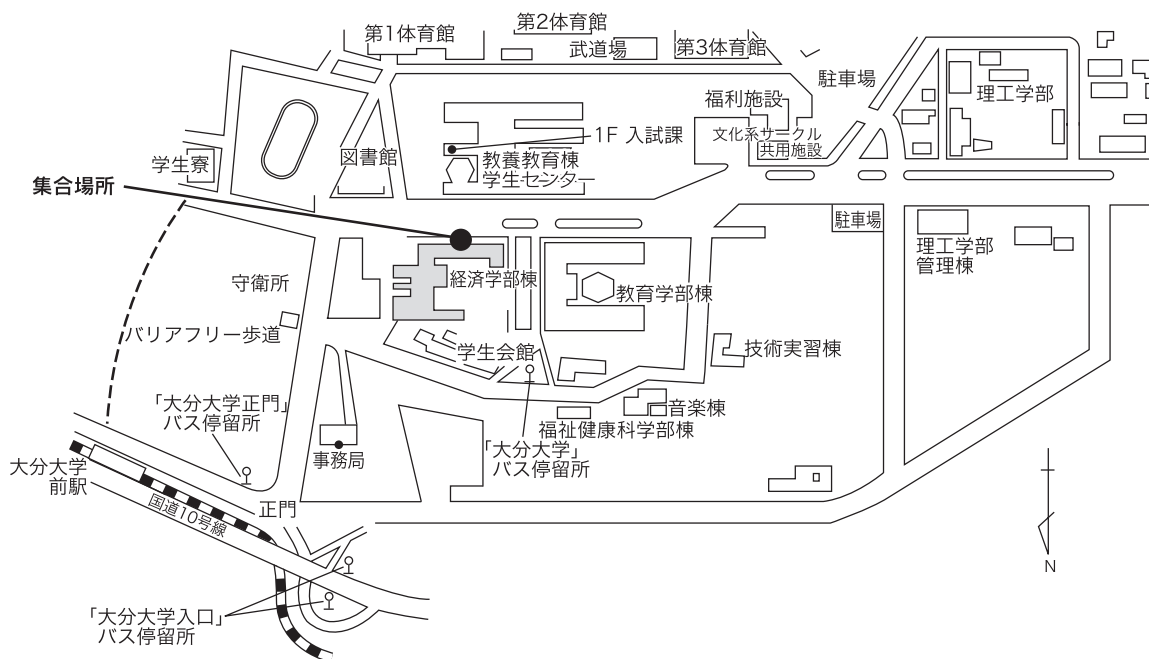
JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分），徒歩約10分。

< バス利用 >

大分バス大分バス〔大分駅前3番または4番のりば〕から

- 「大南団地（高江ニュータウン）」また「大分大学」行きを利用。
「大分大学」又は「大分大学正門」下車…（約40分）
- 「佐伯，白杵，竹田，戸次」行き等を利用。
「大分大学入口」下車…（約40分），徒歩約15分

巨野原キャンパス案内図



大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL. 097-554-7006

FAX. 097-554-7472

(E-mail nyucenter@oita-u.ac.jp)

(U R L <http://www.oita-u.ac.jp>)